

# 令和3年2月の労働市場の動き

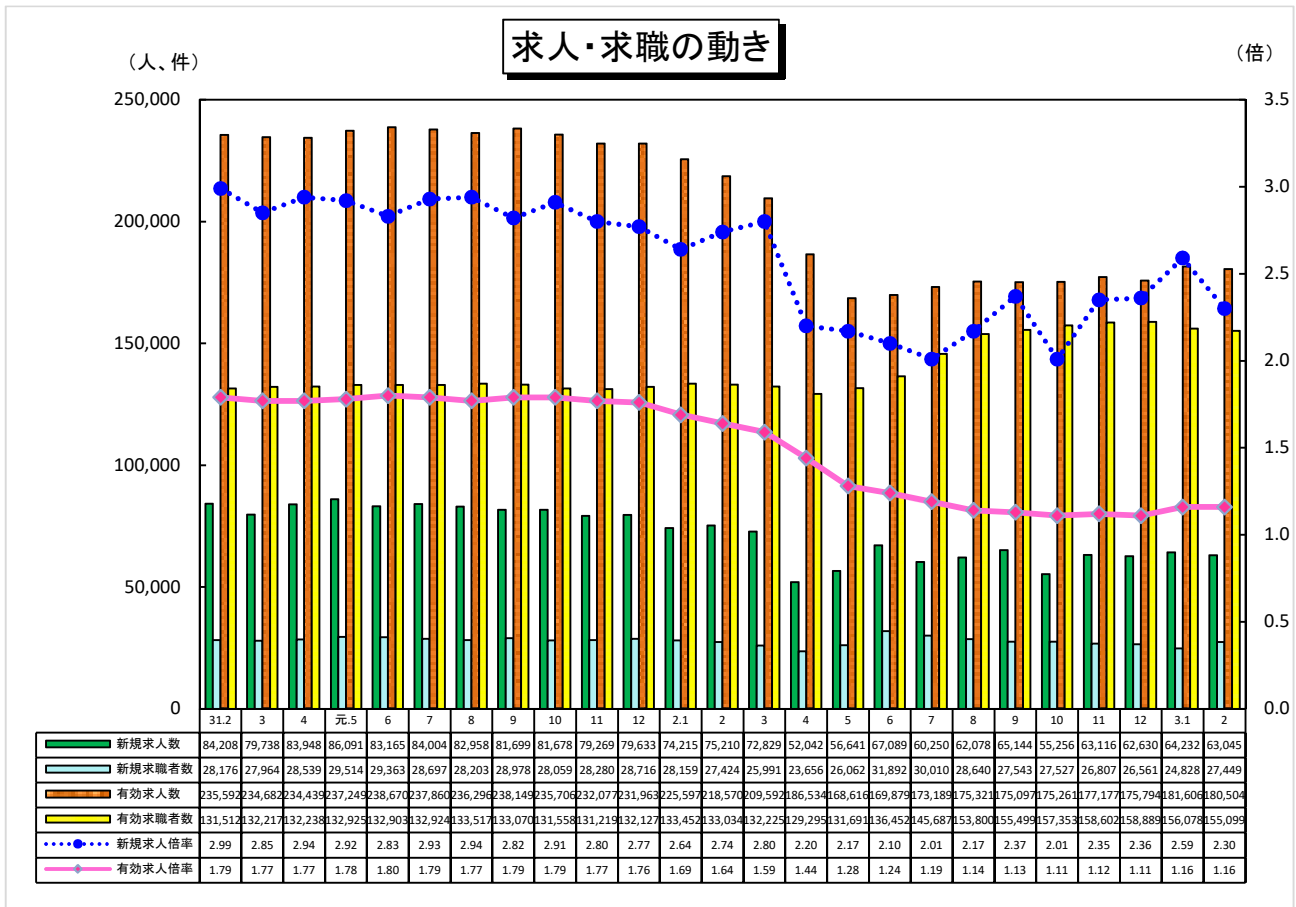
## (求人倍率)

- 大阪府の令和3年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.16倍となり、前月と同水準となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.30倍となり、前月より0.29ポイント低下した。

【参考】 就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は0.96倍(前月より0.01ポイント低下)と7か月連続で1倍を下回っている。

## (求人・求職の動き)

- 2月の新規求人数(季節調整値)は前月比1.8%減となり、有効求人数(同)は前月比0.6%減となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比10.6%増となり、有効求職者数(同)は前月比0.6%減となった。
- 2月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると14.2%減となった。これを主要産業別にみると、**建設業(前年同月比4.5%減)**、製造業(同17.5%減)、情報通信業(同18.7%減)、運輸業、郵便業(同30.0%減)、卸売業、小売業(同29.7%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同8.9%減)、宿泊業、飲食サービス業(同22.1%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同12.8%減)、教育、学習支援業(同9.6%増)、医療、福祉(同5.1%減)、サービス業(他に分類されないもの)(同13.7%減)と「教育、学習支援業」は3か月ぶりの増加となったが、その他の産業では減少となった。



(注) 各月の数値は季節調整値。R3.2季節調整替。